

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、
本誌に掲載された討論会に関する情報は、
下記本会ホームページからもご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

「粉末・多結晶のX線解析講習会」

—最新の研究事例から学ぶ
実践的アプローチ—

主 催 日本結晶学会

協 賛 日本化学会

会 期 10月15日(水)

開催方式 対面式

会 場 大阪公立大学I-site なんば (大阪市浪速区敷津東2-1-41) [交通] 「大国町」[恵美須町]「今宮戎」駅より徒歩

参加申込締切 定員(100名)になり次第

参加費 日本結晶学会および指定学会会員6,000円、協賛学会会員8,000円、一般10,000円、学生3,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 大阪公立大学 久保田佳基
E-mail: kubotayoshi@omu.ac.jp <https://crsj.jp/news/2025/250804xrd.html>

合同公開講演会
次世代光通信を実現する
最新技術動向

主 催 近畿化学協会機能性色素部会 近畿化学協会エレクトロニクス部会

協 賛 日本化学会近畿支部

会 期 10月17日(金)13時30分～17時

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 大阪科学技術センター6階605号室 (大阪市西区靱本町1-8-4) [交通] OsakaMetro四つ橋線「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩約7分靱公園北詰め

参加申込締切 10月6日(月)ただし定員(対面40名、オンライン90名)になり次第締切
1. 新たな価値創造へのチャレンジ—想像と創造、光技術の進化IOWNとともに(NTT)大西佐知子

2. 光導波路のためのポリマー材料仕様とポリマー光導波路デバイスの光電融合技術応用(慶大理工)石樽崇明

3. 次世代光通信向け石英系光ファイバ技術(住友電工)長谷川健美

4. 次世代光通信デバイスへの応用に向けた電気光学ポリマー材料・プロセス技術開発(情報通信研究機構未来ICT研究所)山田俊樹

参加費 協賛団体・日本化学会所属会員10,000円、学生2,000円、会員外15,000円、主催団体所属会員無料

懇親会 17時15分～18時30分、ATRIO CAFEにて。会費3,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 一般社団法人近畿化学協会機能性色素部会・同エレクトロニクス部会 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: seminar@kinka.or.jp <https://kinka.or.jp/dye/saishin.html#sec20251017>

第50回レーザ顕微鏡研究会・
第23回医用分光光学研究会
合同研究会

主 催 レーザ顕微鏡研究会 医用分光光学研究会

協 賛 日本化学会

会 期 10月23日(木)～25日(土)

開催方式 対面式

会 場 札幌市教育文化会館(札幌市中央区北1条西13丁目) [交通] 札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅、市電「西15丁目」停

参加申込締切 10月17日(金)

参加費 一般3,000円、学生2,000円

懇親会 10月24日(金)18時、教育文化会館研修室403にて。会費：一般4,000円、学生2,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 北海道大学 大学院情報科学研究院 橋本 守 E-mail: slm.medspc@ist.hokudai.ac.jp <https://www.ist.hokudai.ac.jp/labo/bmsys/jslm&medsp/>

秋季塗料講演会
機能性塗料と環境対応技術の
最新動向

主 催 色材協会

協 賛 日本化学会

会 期 10月24日(金)9時40分～16時50分

開催方式 対面式

会 場 ディーアイシービル 2F会議室 (中央区日本橋3-7-20) [交通] 東京メトロ銀座線・東西線/都営浅草線「日本橋」駅から徒歩約2分、JR「東京」駅から徒歩約5分

参加申込締切 定員(100名)になり次第

色材協会関東支部塗料部会では、塗料業界の技術向上と発展を目的として、春季と秋季の年2回の塗料講演会を開催しております。本年の秋季塗料講演会では、近年注目を集める機能性塗料の最新技術と環境負荷低減に貢献する技術動向について、最前線でご活躍されている先生方にご講演していただきます。

1. 三菱ケミカルの資源循環に向けた取り組み(三菱ケミカル)根本耕司

2. 微細形状による機能性塗膜の形成(オーウエル)橋谷田 晃

3. 自動車塗装ラインの低温硬化への挑戦(旭化成)竹野聡志

4. CN実現に向けた自動車用金型内塗装用塗料開発(日本ペイント・オートモーティブコーティングス)川合貴史

5. 機能性塗膜としての濃厚ポリマーブラシ技術の応用展開(京大化学研)辻井敬巨

6. 微生物による廃塗料の資源化技術(Inbound Japan)宮崎利久

参加費 会員(協賛学会協会会員共)20,000円、会員外33,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 150-0013 渋谷区恵比寿3-12-8 東京塗料会館201号室 一般社団法人色材協会事務局 電話(03)3443-2811 FAX(03)3443-3699 E-mail: admin@jscm.or.jp https://shikizai.org/syukitoryokouenkai_2025/

25-1 高分子表面研究会

—高分子表面・界面のみえる化最前線—

主 催 高分子学会 高分子表面研究会

協 賛 日本化学会

会 期 10月24日(金)9時55分～17時20分

開催方式 対面式

会 場 東京理科大学森戸記念館第1フォーラム(新宿区神楽坂4-2-2) [交通] JR総武線、地下鉄有楽町線・東西線・南北線「飯田橋」駅下車徒歩10分、都営地下鉄大江戸線「牛込神楽坂」駅徒歩10分

参加申込締切 10月21日(火)12時

1. 開会の挨拶

2. 和周波分光による表面・界面の分光分析(千葉大)宮前孝行

3. 素材設計に向けたソフトマター表面・界面の局所力学物性解析(富士フイルム)梶谷忠志

4. 先端顕微鏡法による複合材料界面の見える化(東北大)陣内浩司

5. 液中高分解能AFM分析技術の開発とイオン液体・高分子液体・液体金属への応用(京大)一井 崇

6. メカノクロミズムを利用した高分子の応力・破壊の可視化(東京科学大)大塚英幸

7. 伏せられて見えない摩擦界面を如何にして見える化するか—その場観察・AEセンシングによる可視化アプローチ(埼玉工大)長谷垂蘭

閉会の挨拶

参加費 企業5,500円、大学・官公庁3,300円、学生2,200円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 104-0042 中央区入船3-10-9 公益社団法人高分子学会 事業課 電話(03)5540-3771 FAX(03)5540-3737 E-mail: jigy@spsj.or.jp <https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=751>

第412回液体クロマトグラフィー
研究懇談会

—プロテオミクスを達成する選択肢—

主 催 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

後 援 日本化学会

会 期 10月24日(金)13時～17時5分

開催方式 対面式

会 場 株式会社島津製作所 東京支社イベントホール(千代田区神田錦町1-3) [交通] 東京メトロ銀座線「神田」駅より徒歩10分

参加申込締切 10月16日(木)(入金締切時刻:15時まで)

プロテオミクス研究技術はトップスピードで進化しています。極微量タンパク質研究を加速させるため、多くの実験選択肢を持つことは非常に重要です。本例会では「選択肢」にフォーカスし、現場で活用・応用できる最新のプロテオミクス技術情報・研究成果をご講演いただきます。

講 演

1. 講演主題概説(オーガナイザー)(農研機構)高橋亜紀子

2. プロテオーム解析用サンプル調製の方法とポイント(サーモフィッシャーサイエンティフィック)牛山正人

3. プロテオミクスにおける前処理の選択肢(ジールサイエンス)太田茂徳

4. タンパク質消化酵素・移動相・カラムの選択肢と組み合わせ(日本ウォーターズ)寺崎真樹

5. 食物アレルギー分析における試薬選択と前処理・測定の最適化(日本食品検査)橘田

規

6. プロテオミクスによるヌクレオソーム構造解析へのアプローチ (東大定量生命科学研) 根岸瑠美

7. 総括: プロテオミクスを達成する選択肢 (東理大) 中村 洋

参加費 学生 1,000 円, 後援学会・個人会員 4,000 円, 後援学会・団体会員 4,500 円, その他 5,000 円

懇親会 講演終了後, 講師を交えて情報交換会を開催します。会費 5,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail: takahashi.akiko073@naro.go.jp <https://www.lckon.org/lckon/reikai/lckon0412.html>

炭素材料学会基礎講習会

—炭素材料の構造および機能性の評価—

主 催 炭素材料学会

協 賛 日本化学会

会 期 10 月 30 日(木)9 時 30 分～31 日(金)9 時 30 分

開催方式 オンライン

参加申込締切 10 月 22 日(水)※郵便振替での支払を希望される方は, 10 月 13 日(月)まで

本講習会では炭素材料の応用開発を見据えて, 炭素材料の構造・形態, 物性, 機能の評価する分析手法の正確な理解と習得を目指します。

参加費 [個人料金 (1 名のみ接続可)] (2 日コース) 正会員 (協賛学協会含)・賛助会員 50,000 円, 学生会員 (協賛学協会含) 10,000 円, 非会員 75,000 円, 学生非会員 20,000 円, (1 日コース) 正会員 (協賛学協会含)・賛助会員 30,000 円, 学生会員 (協賛学協会含) 5,000 円, 非会員 50,000 円, 学生非会員 10,000 円, [グループ料金 (参加申込者を含む最大 5 名接続可)] (2 日コース) 正会員 (協賛学協会含)・賛助会員・学生会員 (協賛学協会含)・学生非会員からなるグループ 75,000 円, 学生会員 (協賛学協会含) のみのグループ 15,000 円, 学生非会員のみまたは学生会員 (協賛学協会含)・学生非会員からなるグループ 30,000 円, 学生以外の非会員を含むグループ 112,500 円, (1 日コース) 正会員 (協賛学協会含)・賛助会員・学生会員 (協賛学協会含)・学生非会員からなるグループ 45,000 円, 学生会員 (協賛学協会含) のみのグループ 7,500 円, 学生非会員のみまたは学生会員 (協賛学協会含)・学生非会員からなるグループ 15,000 円, 学生以外の非会員を含むグループ 75,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 炭素材料学会基礎講習会ヘルプデスク E-mail: tanso-koshukai@conf.bunken.co.jp <https://www.tanso.org/event/academic/event2025/octseminar2025/>

2025 年度産総研エネルギー・環境シンポジウムシリーズ 「有機フッ素化合物等の化学物質を巡る課題と技術革新の現在地」

—環境と産業の共生を支える

測定・処理・管理技術の最前線—

主 催 産業技術総合研究所

後 援 日本化学会

会 期 10 月 31 日(金)13 時～17 時 15 分

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 産総研臨海副都心センター別館 11 階会議室 (江東区青海 2-4-7) [交通] ゆりかもめ「テレコムセンター」駅徒歩 3 分, リンかい線「東京テレポート」駅徒歩約 15 分

参加申込締切 10 月 22 日(水)17 時

近年, 残留性や難分解性を有する化学物質による環境および健康へのリスクに対する関心が高まる中, とりわけ一部の有機フッ素化合物は, 国際的にも優先的な対応が求められる化学物質群として注目されています。本講演会では, 有機フッ素化合物等の化学物質を取り巻く現状に対し, 計測技術, 分解・処理技術, 化学物質管理に関する視点から, 環境と産業の共生に向けて求められる最新の研究成果や技術・政策動向を紹介します。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先 PFAS 対策技術コンソーシアム事務局 E-mail: pfas.info@campuscreate.com <https://forms.gle/SqJmMnCLUvj7LWRC26>

問合先 305-8569 つくば市小野川 16-1 産業技術総合研究所 環境創生研究部門 研究発表会事務局 E-mail: M-EMRIsympo-ml@aist.go.jp <https://unit.aist.go.jp/env-mri/kouenkai/2025/index.html>

化学週間 夢・化学-21 第 34 回東海地区 高等学校化学研究発表交流会

主 催 日本化学会東海支部化学教育協議会

会 期 11 月 3 日(月)10 時 30 分～17 時

開催方式 対面式

会 場 三重大学医学部 臨床第二講義室 (津市江戸橋 2-174) [交通] 近鉄名古屋線「江戸橋」駅から徒歩 15 分, 近鉄名古屋線「津」駅東口 4 番のりばから三重交通バス「大学病院」または「大学病院前」下車

参加申込締切 10 月 24 日(金)ただし定員 (100 名) になり次第

- 泳ぐ人工イクラの運動Ⅳ —ゲル周囲の水溶液の流れの可視化 (茨城県日立北高)
- 塩基性条件下におけるメチレンブルーの新規反応の発見 (名古屋市向陽高)
- インジゴカルミンの酸性条件下における変色について (愛知県一宮高)
- ドローンによる微小マイクロプラスチックの分析 (岐阜県八百津高)
- 飲料水中残留マイクロプラスチックの紫外線による分解 (岐阜県岐阜高)
- 平衡透析法を用いたスライムの架橋形成反応についての考察 (長野諏訪清陵高)
- ヨウ素時計反応における反応条件と反応速度の比較 (名古屋市向陽高)
- CO₂ 吸収量に変化する条件 (静岡県清水東高)

参加費 無料

参加申込方法 E-mail E-mail のタイトルに

「東海地区高等学校化学研究発表交流会参加申込」と記入し, 1. 氏名・同ふりがな, 2. 学校名・学年, 3. 連絡先 (郵便番号・住所・電話番号・E-mail アドレス) などを明記の上, お申し込み下さい。

申込先・問合先 468-8502 名古屋市天白区塩釜口 1-501 名城大学農学部 濱本博三 E-mail: hamam@meijo-u.ac.jp <https://tokai.chemistry.or.jp>

第 53 回先端科学セミナー

—電気化学のための計算化学入門—

主 催 電気化学会関東支部

協 賛 日本化学会

会 期 11 月 6 日(木)10 時～16 時 35 分

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 中央大学・後楽園キャンパス 3 号館 14 階 (文京区春日 1-13-27) [交通] 東京メトロ「後楽園」駅から徒歩約 5 分

参加申込締切 10 月 15 日(水)

電気化学会関東支部では 2020 年以降「電気化学のための計算化学入門」と題した先端科学セミナーを企画して参りました。受講者の皆様に計算を体験していただき, その実際の操作に触れるキッカケにさせていただき, 体験型の実践講座を設けております。今回は, 近年電気化学分野でも関心が高まっている第一原理計算に関して, オンデマンド配信やライブセッションでの特別講演の企画の追加をし, さらに内容を充実させました。初めて受講の方はもちろん, 過去に受講された方々も含め, 研究者, エンジニア, 学生, また産官学問わず, 幅広い業種の皆様からの奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

[講義のオンデマンド配信]

1. 計算化学概論 (早大) 國本雅宏
2. 量子化学計算 (甲南大) 山本雅博
3. 第一原理計算 (筑波大) 大谷 実
4. 分子動力学計算 (横国大) 都築誠二
5. 計算ソフト紹介 (アドバンスソフト) 西原慧徑

[ライブセッション] (ハイブリッド)

1. 実行委員長挨拶, 趣旨説明
2. 講師座談会 (講師紹介)
3. 特別講演 (筑波大) 大谷 実
4. チュートリアル・実践計算化学 ～酸化還元電位を計算してみよう! [前編]
5. チュートリアル・実践計算化学 ～酸化還元電位を計算してみよう! [後編]
6. 閉会の挨拶

参加費 個人会員 (日本化学会員, 協賛学会員含む) 15,000 円, 法人会員 (日本化学会員, 協賛学会員含む) 20,000 円, 非会員 30,000 円, 学生 3,000 円

参加申込方法 Web

申込先 電気化学会関東支部 https://kanto.electrochem.jp/pages/notice/seminar/page-seminar_202510.html

問合先 305-8573 つくば市天王台 1-1-1 電気化学会関東支部 事務局 辻村清也 電話 (029)853-5358 E-mail: kanto@electrochem.jp

第 36 回 プラズマエレクトロニクス講習会

—プラズマプロセスの基礎と先端応用技術—

主 催 応用物理学会プラズマエレクトロニ

クス分科会

協 賛 日本化学会

会 期 11月7日(金)8時50分～17時15分

開催方式 対面式

会 場 名城大学天白キャンパス N304 講義室(名古屋市天白区塩釜口1-501) [交通] 地下鉄鶴舞線「塩釜口」駅下車1番出口(右)徒歩約4分

参加申込締切 10月20日(月)

1. プラズマの基礎: 電子衝突断面積と電子輸送特性(室蘭工業大) 川口 悟
2. プラズマ診断技術の基礎と最新動向(中部大) 小川大輔
3. 絶縁膜エッチング(高アスペクト比ホールエッチング)の基礎と最前線(キオクシア) 大村光広

4. 半導体製造におけるプロセスインフォマティクス(東京エレクトロン) 茂木弘典
5. 先端3D集積向けプラズマ活性化ウエハ接合の技術概要と課題(横国大) 井上史大
参加費 協賛学協会個人会員: 一般22,000円, 学生6,000円(税込・10%対象, テキスト代を含む)

懇親会 17時30分～19時。会費2,500円

参加申込方法 Web

申込先 応用物理学会事務局 https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=4210645660589436&EventCode=4129202449

問合せ先 185-8601 国分寺市東恋ヶ窪1-280 松井 都(日立製作所) E-mail: miyako.matsui.sh@hitachi.com

第8回 Tishler-Ōmura 講演会

主 催 北里大学大村智記念研究所

協 賛 日本化学会

会 期 11月8日(土)13時～16時30分

開催方式 対面式

会 場 白金キャンパス北里大学薬学部大村記念ホール(港区白金5-9-1) [交通] JR・東京メトロ銀座線・半蔵門線「渋谷」駅東口下車, 「田町」駅行都バス「田87」系統で約15分「北里研究所前」下車

参加申込締切 10月20日(月)

1. A new paradigm for self-resistance in antibiotic-producing bacteria (Monash Warwick Alliance Professor of Sustainable Chemistry Department of Chemistry, University of Warwick) Gregory L. Challis
2. Kitasato Institute's challenge in Ghana: Building a co-creation-based schistosomiasis control package (Kitasato University, Japan) Naotoshi Tsuji
3. Bats as reservoirs of viral zoonoses: how Egyptian fruit bats combat Marburg virus infection (Robert Koch-Institute, Germany) Joseph Prescott
4. Strategy for malaria elimination (Japan Institute for Health Security (JIHS), Japan) Shigeyuki Kano

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先 第8回 Tishler-Ōmura 講演会事務局 https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfJ_GjxmfGhkaFVvxg8zi68y0s4nbwXXPne40-ZHHPQ3Tm8LA/viewform

問合せ先 108-8641 港区白金5-9-1 第8回 Tishler-Ōmura 講演会事務局 FAX(03)5791-6335 E-mail: tosympo@kitasato-u.ac.jp

<https://www.kitasato-u.ac.jp/lisci/news/TOsymp2025.html>

大阪教育大学公開講座 中学生のための楽しいかがく教室

主 催 大阪教育大学

共 催 日本化学会近畿支部

会 期 11月8日(土)13時～16時

開催方式 対面式

会 場 大阪教育大学柏原キャンパス(柏原市旭ヶ丘4-698-1) [交通] 近鉄大阪線「大阪教育大前」駅下車徒歩約15分(駐車場有)

参加申込締切 9月8日(月)～10月8日(水)

大学の研究室での実験: 錬金術師になろう・指の模型を作ろう・フェノールフタレインやきれいに光る蛍光物質を作ろうなどの実験テーマを用意しています。申し込みの際に選択して下さい(各テーマについて定員があります)。

対 象 中学生。学校教諭の参観も歓迎(事前にご連絡下さい)。

参加費 無料

参加申込方法 Web 下記参加申込方法 HP の「参加申込フォーム」からお申し込み下さい。

申込先・問合せ先 大阪教育大学 種田将嗣 電話(072)978-3398 E-mail: koukai@bur.osaka-kyoiku.ac.jp <https://x.gd/kagaku>

NIMS Award Symposium 2025

—持続可能社会を切り拓く
エネルギー関連材料と技術
～ペロブスカイト太陽電池～

主 催 物質・材料研究機構

協 賛 日本化学会

会 期 11月11日(火)

開催方式 対面式

会 場 つくば国際会議場 中ホール300(つくば市竹園2-20-3) [交通] つくばエクスプレス線「つくば」駅徒歩約10分

参加申込締切 11月5日(水)

「NIMS Award シンポジウム」は、NIMS Award の受賞者の功績を称えるとともに、関連する分野の著名な研究者および NIMS 研究者が一堂に会し、最先端の研究について議論する国際シンポジウムです。今年度の NIMS Award は、ペロブスカイト太陽電池の実用化を切り拓いた、宮坂 力 氏(桐蔭横浜大)、Henry J. Snaith 氏(オックスフォード大)、Nam-Gyu Park 氏(成均館大)が受賞されました。シンポジウムでは3氏の受賞記念講演のほか、招待講演、NIMS 研究者による講演およびポスターセッションを予定しています。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 物質・材料研究機構 NIMS Award シンポジウム2025特設サイト <https://www.nims.go.jp/nims-award-symposium/>

2025 年北海道地区 化学教育研究協議会

主 催 日本化学会北海道支部 日本分析化学会北海道支部

共 催 日本化学会

会 期 11月15日(土)10時～16時30分

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 北海道教育大学札幌駅前サテライト(札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo55 4階) [交通] JR「札幌」駅西口より徒歩2分

参加申込締切 10月27日(月)

特別講演: 教員養成の現場から見る小中高化学分野の系統性と求められる資質(宮城教育大) 猿渡英之

提言: 「理科(化学)教育における小・中・高・大学での取り組み」を4件ほど予定(提言20分、質疑応答5分程度)

自由討論: 「小・中・高・大学での研究実践と課題に関する討論」(1時間程度)

参加費 無料

懇親会 希望者。会費4,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院 材料科学部門内 坂入正敏 E-mail: msakairi@eng.hokudai.ac.jp <https://forms.gle/daCP7aCv2b5G1Pgo8>

大阪教育大学公開講座 子と親の楽しいかがく教室

主 催 大阪教育大学

共 催 日本化学会近畿支部

会 期 11月15日(土)13時～16時

開催方式 対面式

会 場 大阪教育大学柏原キャンパス(柏原市旭ヶ丘4-698-1) [交通] 近鉄大阪線「大阪教育大前」駅下車徒歩約15分(駐車場有)

参加申込締切 9月15日(月)～10月15日(水)

大学の研究室での実験: 指の模型を作ろう・きれいに光る液体を作ろう・ペットボトルの中で夕焼けを作ろう・草花のしおりと火花を作ろうなどの実験テーマを用意しています。申し込みの際に選択して下さい(各テーマについて定員があります)。

対 象 小学生(4・5・6年生)と保護者のペア(必ずペアで参加して下さい)。小学校教諭の参観も歓迎(事前にご連絡下さい)。

参加費 無料

参加申込方法 Web 下記参加申込方法 HP の「参加申込フォーム」からお申し込み下さい。

申込先・問合せ先 大阪教育大学 種田将嗣 電話(072)978-3398 E-mail: koukai@bur.osaka-kyoiku.ac.jp <https://x.gd/kagaku>

第413回液体クロマトグラフィー 研究懇談会

—HPLC, LC/MSの基礎と応用—

主 催 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

後 援 日本化学会

会 期 11月21日(金)13時～17時

開催方式 対面式

会 場 株式会社日立ハイテクアナリシスサイエンスソリューションラボ東京(中央区新富町2-15-5 RBM 築地ビル) [交通] 東京メトロ有楽町線「新富町」駅より徒歩1分

参加申込締切 11月14日(金)(入金締切: 15時まで)

HPLC, LC/MSは環境、食品、医薬品、材料など、様々な分野の分析で幅広く活用され

ている手法です。目的を達成するためには、基礎知識を習得することは必要不可欠です。本例会では、HPLC, LC/MS に用いる装置、カラム、水、試薬などに関する、基礎から、昨今の事例を含めた応用例までご講演いただきます。

講演

- 講演主題概説（オーガナイザー）（関東化学）坂本和則
- HPLC, LC/MS に用いる試薬・溶媒の基礎と最新トピックス（関東化学）坂本和則
- 前処理の基礎と固相抽出の使用方法（ジーエルサイエンス）太田茂徳
- C18 カラムの基礎とオリゴ核酸の不純物分析への応用（化学物質評価研究機構）坂牧寛
- 高速液体クロマトグラフィーの検出器選定の基本と最新トピックス（島津製作所）内田あずさ
- LC/MS, LC/MS/MS により得られるマススペクトル解析の基礎と応用（浜松医科大学/エムエス・ソリューションズ）/（プレッパーズ）高橋 豊
- 総括：HPLC, LC/MS の基礎と応用（東理大）中村 洋

参加費 学生 1,000 円、後援学会・個人会員 4,000 円、後援学会・団体会員 4,500 円、その他 5,000 円

懇親会 講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します。会費 5,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 （公社）日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail: sakamoto-kazunori@kanto.co.jp <https://www.lckon.org/lckon/reikai/lckon0413.html>

化学への招待 —講演会 アルミの化学

—アルミニウム発見（単離）
200 周年を迎えて—

主催 日本化学会関東支部

会期 11 月 22 日（土）13 時～15 時 20 分

開催方式 オンライン

参加申込締切 当日まで

毎年ご好評をいただいている「化学への招待—講演会」ですが、今回はアルミニウムに関する講演会を企画しました。(1) アルミニウムの発見と技術展開の歴史、ならびに素材の魅力や今後の発展、(2) アルミニウムのリサイクルの重要性と課題、富山大学での取り組み、(3) 化学結合・分子構造に立脚したアルミニウム化合物の特異的な反応性の 3 つの話題をそれぞれご専門の先生にご紹介いただきます。アルミニウムの多彩な魅力を知ることのできる貴重な機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1. アルミニウムの歴史と魅力（東京科学大名誉）里 達雄

アルミニウムの発見と技術展開の歴史ならびに素材の魅力や今後の発展について紹介します。

2. アルミニウムのアップグレードリサイクル（富山大都市デザイン）小野英樹

アルミニウムのリサイクルの重要性と課題、富山大学での取り組みについて説明します。

3. アルミニウムの分子化学（東北大院理）長田浩一

化学結合・分子構造に立脚したアルミニウム化合物の特異的な反応性について説明します。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 日本化学会関東支部 E-mail: kanto@chemistry.or.jp <https://kanto.csj.jp/>

界面科学実践講座 2025 —基礎と応用（東海）—

主催 日本油化学会東海支部 日本油化学会界面科学部会（東海）

協賛 日本化学会

会期 12 月 12 日（金）9 時 30 分～16 時 50 分

開催方式 対面式

会場 名古屋市立大学桜山キャンパス西棟 2 階講義室 A（名古屋瑞穂区瑞穂町字川澄 1）〔交通〕地下鉄桜通線「桜山」駅下車 3 番出口すぐ

参加申込締切 11 月 28 日（金）

界面科学技術は、様々な産業界で幅広く利用され、モノ造りにおいて見落とすことのできないポイントとなっています。本講座は、界面科学関連企業の新入社員、業務上界面科学の基礎知識が必要な中堅社員および営業関係の方、界面科学を専攻する学生を主たる対象として、各産業界で活かせる界面科学の基礎と最近のトピックスを中心に、「わかりやすい」をモットーに開催しております。

- 界面活性剤概論 ～両親媒性分子の構造・物性・機能（名工大）山本 靖
- 乳化・分散の基礎と応用（中京油脂ホールディングス）加藤裕貴
- サステナブル界面活性剤バイオ IOS の開発（花王）宮崎敦史
- 分散の基礎と応用 ～用途に適した添加剤の選定方法（ビックケミー・ジャパン）米原博
- ピッカリングエマルションの特性と化粧品への応用（ポーラ化成工業）中谷明弘

参加費 普通会員・法人会員・協賛団体会員 10,000 円、学校・官公庁 5,000 円、非会員 14,000 円、学生 500 円

懇親会 17～19 時、名古屋市立大学桜山キャンパス生協にて。会費 1,000 円（学生無料）

参加申込方法 Web

申込先・問合先 460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル 7 階 中部科学技術センター内 日本油化学会東海支部事務局 電話 (052) 231-3070 E-mail: yuka@cstc.or.jp <https://www.cstc.or.jp/>

第 414 回液体クロマトグラフィー 研究懇談会

—LC 及び LC/MS 分野における
ソリューションサービス—

主催 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

後援 日本化学会

会期 12 月 17 日（水）13 時～17 時

開催方式 対面式

会場 株式会社島津製作所 東京支社イベントホール（千代田区神田錦町 1-3）〔交通〕銀座線「神田」駅より徒歩 10 分

参加申込締切 12 月 10 日（水）

ソリューションサービスは顧客の課題解決を目的とした提案や支援を行う業務です。本例会では、LC および LC/MS 分野で受託分析や技術支援を行う組織の技術や事例を紹介します。

- 講演主題概説（オーガナイザー）（西岡技術士事務所）西岡亮太
- LC/MS で切り拓く創薬・医療のソリューションサービス（東レリサーチセンター）櫻井 周
- LC/MS を用いた生体試料中濃度分析におけるトラブルシューティング（住化分析センター）松井誠一
- 自動分析ソフトウェアを活用した HPLC の分析メソッド開発支援（化学物質評価研究機構）坂牧 寛
- 食品分析機関における糖類の分析（日本食品分析センター）横関俊昭
- 高分解能キャピラリーカラムを用いる植物由来成分の分離分析（アークス）小林宏資
- 質量分析に関する様々なソリューションサービス ～LC/MS、イメージング、マススペクトル解析など（浜松医科大学/エムエス・ソリューションズ）/（プレッパーズ）高橋 豊
- 島津製作所の分析ソリューションに関する取り組み（島津製作所）寺田英敏
- 総括：LC 及び LC/MS 分野におけるソリューションサービス（東理大）中村 洋

参加費 学生 1,000 円、後援学会・個人会員 4,000 円、後援学会・団体会員 4,500 円、その他 5,000 円

懇親会 講演終了後。会費 5,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 （公社）日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail: nishioka@nipeo-chem.com <https://www.lckon.org/lckon/reikai/lckon0414.html>

第 137 回触媒討論会

主催 触媒学会

協賛 日本化学会

会期 3 月 23 日（月）、24 日（火）

開催方式 対面式

会場 東京科学大学大岡山キャンパス（目黒区大岡山 2-12-1）〔交通〕東急大井町線・目黒線「大岡山」駅大岡山東地区正門まで徒歩 1 分

参加申込締切 講演申込・講演者参加登録申込締切：11 月 7 日（金）、一般参加登録申込締切：下記 HP にてご案内

第 137 回触媒討論会は、特別講演、B1 講演（口頭発表：10 分発表，15 分討論）、B2 講演（口頭発表：20 分発表，5 分討論）、B3 講演（口頭発表：10 分発表，10 分討論）およびポスター発表で構成される予定です。B1 講演には、優秀講演賞および学生優秀講演賞、B3 講演には学生講演賞、ポスター発表には、学生ポスター発表賞を設定します。賞に関する詳細は、下記触媒学会 HP を参照して下さい。

参加費 下記 HP にてご案内

懇親会 3 月 23 日（月）（予定）

参加申込方法 Web

申込先・問合先 101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 3F 一般社団法人触媒学会 電話 (03) 3291-8224 E-mail: catsj@pb3.so-net.ne.jp <https://catsj.jp/catsj-meeting>

“講演会・講習会”欄／“研究発表会—発表募集”欄への投稿について

①掲載対象

- ①“講演会・講習会”欄，“発表募集”欄に掲載する行事は、日本化学会の本部、支部、部会、研究会が、主催、共催、協賛、後援するものに限りです。
- ②掲載は、当会の主催を除き、事前に共催・協賛・後援依頼申請後、許諾認可番号を受けたものが対象となります。許諾認可番号のない行事の原稿は掲載できませんのでご注意ください。
- ③「化学と工業」誌“行事一覧”は、日本化学会ホームページ・イベントカレンダーに掲載されます。

②掲載欄

- ①掲載は、“講演会・講習会”欄または“発表募集”欄のどちらか1回に限りです。両方への掲載はできません。
- ②“講演会・講習会”欄に掲載する内容は、“主催者側からの依頼による講演などが中心の行事”の参加募集です。
- ③“発表募集”欄に掲載する内容は“一般応募による講演などが中心の行事”の発表募集です。

③参加登録費

原則として日本化学会個人会員が主催者の会員と同等の条件（参加費用）で参加できることが化工誌への掲載条件です。参加費の設定が複数ある場合には、別に本会会員の参加費を明記して下さい。
例：〇〇学会会員 10,000 円、日本化学会会員 10,000 円、共催団体 15,000 円、非会員 20,000 円

④原稿締切日と掲載月

- ①原稿締切日は、毎月 25 日です。前月 26 日から当月 25 日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ②通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

⑤原稿作成と投稿方法

- ①原稿は専用投稿フォーマットを使用して作成して下さい。
- ②制限字数は 900 字です。900 字以内であれば掲載料は無料ですが、超過した場合には超過分 900 字につき 17,000 円の有料掲載となります。
- ③専用フォーマット使用方法
 - A) フォーマットに記載されている項目以外に項目が必要な場合は、「記事内容」欄の中で表記して下さい。
 - B) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
 - C) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保证されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ；ｱｶﾌｻ, 記号（約物）；,。〔（・/ 等
- ・ローマ数字；ⅠⅡⅢⅣ, 丸数字；①②③④
- ※アルファベットの I, V, X, Y を組み合わせてローマ数字を表現。
- ※文字の代わりに (1) (2) の表記を使用。
- ※組文字は全角（株）（有）mm での表記にする。
- D) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避けて下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。
- E) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML 形式）をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P < \text{SUP} > 2 + < / \text{SUP} >$
 ・下付； $\text{CO}_2 \rightarrow \text{CO} < \text{SUB} > 2 < / \text{SUB} >$
 ・イタリック；*italic* $\rightarrow < \text{I} > \text{italic} < / \text{I} >$

- ④原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後、送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意ください。
- ⑤投稿完了後、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。
- ⑥投稿原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。
- ⑦送信後に大幅な訂正が生じた場合
 - ①原稿締切（当月 25）日まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mail にて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
 - ②原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

⑦問合せ

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部
 電話 (03) 6807-8212 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp

【投稿・請求に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局
 E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

日本化学会 共催・協賛・後援を希望される場合の手続きについて

本会の共催・協賛・後援を希望される場合には、本会ホームページ（www.chemistry.or.jp/application/sponsorship/index.html）より申請をお願いしております。審査の後、諾否のお知らせを E-mail にてお送りいたします。

なお許諾の後、本誌“講演会・講習会”、“研究発表募集”、“研究発表プログラム”欄への掲載を希望される場合は、それぞれの掲載要項

をご参照のうえ、本会ホームページよりご投稿下さい。

問合先 日本化学会 総務部「共催・協賛・後援」係
 101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
 電話 (03) 3292-6162 FAX (03) 3292-6318
 E-mail: info@chemistry.or.jp